

福井城エリア

所要時間 約90分

井上満枝さんおすすめ

- ・ふくい観光おもてなしガイド
- ・とねりの会
- ・福井市歴史ボランティア「語り部」
- ・日本遺産「福井・勝山石がたり」認定ガイド



戦国から江戸期、近現代まで 福井の歴史をたどるコース

福井のまちの礎となった北庄城、江戸時代の繁栄の象徴である福井城、そして戦災、震災を乗り越えて現代に至る歴史をたどるコースです。



福井駅西口地下駐車場の工事に伴う埋蔵文化財調査では、福井城の堀で最も幅が広がった百間堀の石垣が発見された。福井駅前の歩道には、百間堀の石垣が展示されている。



福井市中央公園は、福井城の西二ノ丸・三ノ丸があった場所で、特に東西を堀に挟まれた西三ノ丸には、藩主の住居でもある御座所が設けられていた。公園では御座所跡の輪郭が御影石と笏谷石で表示され、堀跡をイメージした水景も整備されている。

- 1 福井駅西口**
160m ↓ 2分
- 2 百間堀跡**
450m ↓ 6分
- 3 北庄城址・柴田神社-p20**
500m ↓ 6分
- 4 大手観音**
230m ↓ 3分
- 5 結城秀康像**
170m ↓ 2分
- 6 福井城天守台-p10**
100m ↓ 1分
- 7 山里口御門・御廊下橋-p6, 8**
130m ↓ 2分
- 8 福井市中央公園(御座所跡)**



福井空襲の際、福井郵便局電話課の職員など23名が殉職したことを慰霊するため昭和39年(1964)に遺族、職員により建立された観音像。毎年7月に慰霊供養が行われている。



福井城の本丸跡には福井藩初代藩主・結城秀康の騎馬石像が建てられている。慶長6年(1601)に秀康が越前に入国して400年を記念し、翌平成14年(2002)に建立された。龍泉寺(越前市)所蔵の秀康の肖像画をモデルにしている。

コースMAP



おすすめスポット

内堀公園



福井城址のお堀に面した広場で、立派なお堀と石垣をゆっくりと眺めることができる。藩財政を立て直すべく、長崎での物資販売ルートの開拓のため九州に旅立つ三岡八郎(由利公正)と横井小楠の姿を表現した「旅立ちの像」がある。

福井城北エリア

福井城外堀散策コース

所要時間 約90分

藤川明宏さんおすすめ

[福井市立郷土歴史博物館/学芸員]

◎福井駅からのアクセス

行き:福井駅西口から徒歩12分(1km)

帰り:福井駅西口まで徒歩11分(800m)



芝原上水と御泉水、そして城下の社寺を巡るコースです。福井の歴史をもっと深く知りたい人におすすめの、ちょっとニッチなスポットも紹介します。



1 神明神社

450m ↓ 5分

延長2年(924)伊勢神宮を勧請して創建されたと伝えられ、同神宮の荘園である足羽御厨の開発と関係が深い。足羽御厨は足羽川の北にあったことから北庄と呼ばれるようになるが、この地を支配した朝倉氏をはじめとする歴代国主から崇敬された。福井藩成立以降も福井藩主により守られ、福井の惣社として栄えた。



5 初代康継(刀工)の墓

200m ↓ 2分

福井藩と徳川将軍家両方のお抱え刀工として活躍した初代康継の墓。結城秀康が城下町の建設を行った際、全国から刀工が集まり、福井藩では多くの刀がつけられた。

6 大乘院(鼻欠け地蔵)

150m ↓ 2分

7 芝原上水 親水広場



2 福井市立郷土歴史博物館・舎人門-p12

130m ↓ 2分

福井城の外堀に面していたことから堀端不動と通称された、真言宗智山派の寺院。本尊の不動明王像は、福井城築城の際に結城秀康の所領、関東結城から遷座された仏像で、福井城の鬼門(北東方向)を守る仏として崇敬された。2月3日の節分祭には多くの信者で賑わいを見せる。

3 養浩館庭園-p14

290m ↓ 4分

4 堀端不動 常福院

110m ↓ 1分



5 初代康継(刀工)の墓

200m ↓ 2分

6 大乘院(鼻欠け地蔵)

150m ↓ 2分

7 芝原上水 親水広場

信者の身代わりになった伝説が残る地蔵菩薩を祀る。近くの家の下女がとうふを買いに行くたびに、とうふの端を少し欠いて地蔵菩薩にお供えていた。主人はこれを知り、下女の鼻を切ったが、翌朝になって見ると、下女の鼻は元通り。代わりに地蔵菩薩像の鼻が欠けていたという。

コースMAP



松本通り



福井市立郷土歴史博物館

福井藩や松平家に関する資料の他、福井城本丸の模型や九十九橋の実物模型などの展示がある。「松平家史料展示室」では、福井藩松平家に伝来した重宝・文書の展示があり、大名家の暮らしや文化、福井藩の歴史を学ぶことができる。

初代康継(刀工)の墓

芝原上水 親水広場

芝原上水 親水広場



福井城築城に合わせ、福井城下の上水や田地の農業用水として利用するため、九頭竜川の取水口(現在の永平寺町松岡志比塚付近)から福井城まで、新しい河道として修築された。江戸時代には城下の人々を潤す上水道として厳しく管理され、水を汚すと罰金が科せられた。発掘調査により出土した上水道の護岸の一部が復元整備されている。

足羽山エリア

所要時間 120分

松田多佳子さんおすすめ
 [バスガイド/ひととき企画]

◎福井駅からのアクセス

行き: 福井駅西口から徒歩11分(990m)

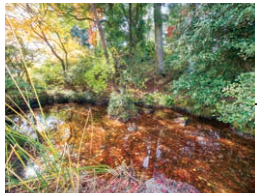
帰り: 朝日山不動寺バス停まで徒歩3分(210m)

→バス約13分→福井駅



桜の美景と笏谷石の文化、 歴史とともに体感コース

桜の名所100選に選ばれている足羽山と足羽川。
 足羽山で採掘された笏谷石は福井城や城下町の建設にも用いられました。足羽山エリアを歩けば、福井の文化と歴史、景観を体感できます。



賤ヶ岳の戦いで敗れ北庄城へ退却する柴田勝家を追ってきた羽柴(豊臣)秀吉は、この天魔池を中心に陣を構えたと言われている。



境内の後ろの崖に、笏谷石を採掘した露天掘り跡がある。秋にみられる笏谷石の岩壁に紅葉がつたう光景は、紅葉の名所として福井藩の絵巻にも記録されている。

- 1 由利公正広場-p26**
 足羽川の桜並木 350m ↓ 4分
- 2 左内公園-p28**
 270m ↓ 4分
- 3 愛宕坂-p30**
 280m ↓ 6分
- 4 足羽神社**
 350m ↓ 5分
- 5 天魔池**
 70m ↓ 1分
- 6 継体天皇像**
 400m ↓ 5分
- 7 藤島神社**
 290m ↓ 4分
- 8 朝日山不動寺**



足羽山中腹の足羽神社には樹齢約370年とされるシダレザクラがあり、参道のタカオモミジとともに福井市の天然記念物に指定されている。春に満開を迎える姿は圧巻で、開花期間中(3月下旬~4月上旬)はライトアップもされる。



越前出身といわれる26代天皇。越前平野の洪水を、矢を海に放ち九頭竜川の水門を開いておさめたと伝えられる。そのため石像は、九頭竜川河口(三国)の方角を向いている。また笏谷石の採掘を奨励したと伝わり、石像は笏谷石製。

コースMAP

足羽川の桜並木



約600本、のべ2.2kmにわたる桜並木がある。



足羽神社

屋上から足羽川の桜や福井のまちを一望できる。

足羽山
 全体で約3,500本の桜が咲き誇る

南北朝時代の武将・新田義貞公を祀っている。神社は明治9年(1876)、義貞が戦死したとされる灯明寺(現在の福井市新田塚町)で創建されたが、水害などのため2度遷座して現在の足羽山に移った。

おすすめスポット
 毛谷黒龍神社



継体天皇が九頭竜川の守護神として創建。越前松平家の祈願所でもある。地元で「くろたつさん」と呼ばれ親しまれているパワースポット!